

けいちゃん便り

ご挨拶

～市議9年目から10年目に向け頑張ります！～



宇都宮市議会議員として9年目の新春を迎えることができ、日頃からのご支援・ご協力に心から感謝を申し上げます。

さて、国においては地方創生に向け「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、さらに、「経済・子育て・社会保障」の新3本の矢を柱とする「一億総活躍社会」に向けて動き出しました。

宇都宮市にも、将来の人口減少と高齢社会においても持続可能な都市として発展するための「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「ネットワーク型コンパクトシティの形成」などの、まちづくりの好循環に寄与する施策・事業の

推進と、財政の健全化等に積極的に取り組んでいるところであります。

また本市は、北関東初の50万都市となりましたが、現在取り組んでいる北関東連携や中枢都市圏構想など、様々な施策事業ごとに、国・県はもちろん、各自治体との連携・協力が重要となってきています。

今後とも、市民の健康と安全・安心、地域の活性化や教育の充実、さらに、市政全般の課題解決など、本市の発展と市民福祉の向上に努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻、ご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。



市・花緑協議会
まちなかハンギングバスケット

関東・東北豪雨災害の現地調査と対応

昨年9月9日～10日に発生した豪雨災害において、被災されました皆様方に心からお見舞いを申し上げます。

現在、災害復旧に取り組んでおりますが、1日も早い住民の不便解消と春先の農作業の影響を最小限に止めてまいりますので、皆様のご協力とご理解を宜しくお願いいたします。



9月13日に、船田元、上野通子お二人の国会議員と高橋文吉県議との現地調査(田川、下横倉地内)



橋梁が破損した、赤堀川の岡橋(石那田町)



仮設橋を設置(歩行者、二輪車専用)



市道が破損した田川(石那田町)

❁ 昨年の議会での一般質問(6月・12月の抜粋)

●宇都宮IC周辺の機能充実(6月)

Q(質問)



北西部地域の拠点である宇都宮IC周辺は、長年にわたり未利用地の状態が続いている。市では産業拠点に位置付け、立地特性などを踏まえ土地利用の誘導に取り組んでいると聞いているが、この地域の賑わいや雇用の創出に向け、積極的に取り組むべきではないか

A(答弁)



平成27年2月に策定した「ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン」で、流通業務や生産機能のほか、周辺の環境も勘案しながら交流人口の増加につながる機能の誘導を図るとした。

現在、土地利用規制などがあることから、地域の実情に応じた開発の在り方について検討している。できるだけ早期に、土地活用がなされるよう、北西部地域の拠点づくりに積極的に取り組んでいく。

●産業競争力の強化と産業拠点の充実(12月)

Q(質問)



①産業競争力の強化に向けた戦略的かつ積極的な取り組みを期待しているが、平出工業団地の用地取得に至った考え方を伺う

②北西部地域の拠点である宇都宮IC周辺地域の土地の有効活用を促進させるために、地籍調査が必要であると考えが見解を伺う

①市への進出を検討する企業からの問い合わせが増加する中、急増する用地需要に迅速に対応するためには、既存工業団地内の未利用地の活用が有効な方策の一つと考えている。

このような中、市のまちづくりに協力したいという観点で、工場跡地の買い取りの打診があり協議を進めることとした。

A(答弁)



②地籍調査により、土地の境界や面積が明らかになることで円滑な土地利用などが可能となり、産業拠点としての充実につながると認識している。今後は、公図と現況が一致しない地区もあることから、法務局や県などとも協議しながら検討していく。

●その他の質問項目(抜粋)

- ・「地方版総合戦略」の策定について
- ・東西基幹公共交通(LRT)の整備推進について
- ・自転車のまち宇都宮の推進について
- ・教育委員会制度改革への対応について
- ・スポーツの振興について
- ・女性の活躍推進について
- ・空き家対策について
- ・鳥獣被害対策について
- ・TPP協定大筋合意を受けた今後の本市農業政策と宇都宮産米の消費拡大について
- ・関東・東北豪雨災害の検証と今後の対策、GIS(地理情報システム)の活用について
- ・消防力の強化と消防団の環境整備充実について



海外行政視察報告

昨年(2015年)の11月8日～15日の8日間、12名の議員団で、海外の3国5都市の行政視察に行かせて頂きました。

経済・観光振興の項目で、ドイツ国の「デュッセルドルフ」と「エッセン」、自転車のまち世界一と言われている、デンマーク国の「コペンハーゲン」、公共交通と都市計画の項目でフランス国の「ストラスブール」と「ナンシー」を視察して来ましたので、その一部を報告します。

コペンハーゲン

人口56万人の都市での市民の移動手段は、自転車45%、公共交通27%、車23%、歩行5%、と言うように、多くの市民が自転車を利用しており、道路には自転車専用レーンが設置され、交差点では直進と右折レーンの自転車専用の信号機も設置されているなど、安全対策が施されていた。

また、時速20km走行で交差点が青信号で通過できることや、子ども、高齢者を乗せることができる自転車走っている。本市の自転車のまちづくり施策に大変参考になった。



車道・自転車道・歩道の状況



親子専用自転車



自転車専用信号機(直進と右折)

ストラスブール



LRT芝生軌道と自転車道

フランスの東部に位置し、ドイツに近い人口28万人の都市ではあるが、周辺の自治体と広域自治体連合を構成し、総人口48万人で都市域内交通を管轄している。

このストラスブールは、車主体から公共交通に転換し、特に中心部への車の進入を規制してトラム(LRT)を導入したまちである。

当初は、反対運動もあったが、現在では、歩いて暮らせるまちとして、逆に中心部への人が増え、賑わいを取り戻してきた。

一日乗り放題のチケットや、乗り継ぎができる駐車場、駐輪場、バスとの連結など、公共交通ネットワークが構築されており、信用乗車方式や車いすでも一人で乗ることができる全ての方が利用しやすい環境であった。

本市においても、LRTの整備推進と合わせて、電車やバス、車と自転車などとの更なる公共交通ネットワークの推進とICカードの導入や利便性の向上が望まれる。同時に、宇都宮市とその周辺自治体と連携をして行くことが今後の自治体の役割でもある。



電停に設置されている信用乗車方式の改札
24時間乗り放題のチケット

❁ (仮称) 石那田IC設置決定

昭和51年12月に供用開始された「日光宇都宮道路」が、30年経過した平成17年6月に、旧日本道路公団から栃木県道路公社に引き継がれ、供用開始から40年経過して(仮称)石那田ICが設置されることとなった。

現在まで、地域からの長年の要望事項であり、私も市議会議員になってからも一般質問を行うなど、常に宇都宮市を通して栃木県に要望してきた。

今後は、平成28年度から設計や、地元説明会などが始まりますので、関係者の皆様のご理解とご協力をお願いすると同時に、これまでの取り組みに感謝し、無事完成することを望んでいる。



現在の主な役職

- 議会総務常任委員会 委員
- スポーツ・文化振興調査特別委員会 委員
- 広報広聴委員会 委員長
- 都市計画審議会 委員
- 市街地開発組合 委員
- 自由民主党議員会 政務調査会長
- その他
- 宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会 会長
- 宇都宮市グラウンドゴルフ協会 顧問
- 宇都宮市サッカー協会 理事
- 篠井宮っこステーション 会長
- 宇都宮工業高等学校同窓会 監事
- 宇都宮工業高等学校野球部OB会 監事

◎けいちゃん所感◎

昨年の世相を表す一文字は「安」でした。安全保障関連法案や世界で頻発するテロ事件、異常気象などで暮らしの安全が揺らいだことなどが理由でありました。

本市においても昨年9月に発生した関東・東北豪雨被害が発生しましたが、本年は、是非とも安全・安心な年でありたいものです。

また、本年は申年ではありますが、さるは飛び回り常に新しいものを求めている動物で、頭の回転の良さと行動力で成功をつかむ動物と言われているそうです。ぴったりの言葉は「チャレンジャー」だそうです。

今年も一年

「チャレンジャー精神」で頑張りましょう。

後援会からのお知らせ

『総会』及び『新春の集い』

- 日時 2016年2月11日(木・祝)
 - 受付 17時00分
 - 開会 18時00分

- 場所 ホテルニューイタヤ

* 皆様の参加をお待ちしております。*



皆様
ありがとうございました。

桜井けいいち後援会 〒321-2116 宇都宮市徳次郎町46 TEL028(665)1166

URL <http://www.keiichi-s.com> E-mail sakurai4301@keiichi-s.com